

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	EX-3 プレス LF : ペーストオペークリキッド
会社名	クラレノリタケデンタル株式会社
住所	東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー
担当部署	商品開発本部
電話番号	03-6701-1730
Fax番号	03-6701-1805
緊急連絡先	0120-330-922 (月曜～金曜 10:00～12:00、13:00～17:00) 050-3499-2717 (上記フリーダイヤル営業時間外)
推奨用途および使用上の制限	歯科用陶材の関連付属品
整理番号	830-260001POL

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険	GHS分類に該当する項目はない	
健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2A 区分3(気道刺激性)
環境に対する有害性	GHS分類に該当する項目はない	

シンボル

注意喚起語
危険有害性情報

警告
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ

注意書き

安全対策	<ul style="list-style-type: none">・取扱い後は手、顔をよく洗うこと。・粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。・【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。・使用前に添付文書及び取扱説明書入手すること。・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none">・皮膚についた場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。・皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。・汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。・眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当を受けること。・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。・呼吸に関する症状が出た場合: 医師に連絡すること。・皮膚刺激又は発疹が生じた場合: 医師の診察/手当を受けること。・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当を受けること。・気分が悪い時は医師に連絡すること。
保管	<ul style="list-style-type: none">・直射日光を避け、冷所に保管すること。・容器を密閉しておくこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none">・内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名又は一般名	濃度 (%)	CAS番号	化審法 公示番号	安衛法(閾値)		PRTR法 管理番号	毒劇法
				表示	通知		
グリセリン	>99	56-81-5	2-242	非該当	非該当	非該当	非該当

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐ、又は取り除く。
皮膚を石鹼と多量の流水又はシャワーで洗う。

眼に入った場合

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診察/手当てを受ける。
水で15分間注意深く洗う。その際、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。

飲み込んだ場合

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断を受ける。
直ちに水又は食塩水を飲ませて吐かせ、医師の処置を受ける。
水で口の中をよくすすぐ。

応急処置をする者の保護

気分が悪いときは、医師の診断を受ける。
救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

粉末消火剤、散水、泡消火剤、乾燥砂

特有の危険有害性

火災によってCO₂、CO等の有害性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

消火作業は可能な限り風上から行う。
速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

消火を行う者の保護

初期の火災には、粉末・二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。大規模火災の際には、泡消火器などを用いて空気を遮断することが有効である。
呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項
保護具および緊急措置

作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」の項を参照)を着用する。
屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
作業の際は適切な保護具を着用し、漏洩した液が皮膚に付着したり、上記を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を退避させる。付近の着火源となるものを速やかに取り除く。露出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者立ち入りを禁止する。

環境に対する注意事項

流出した製品の河川、水路、下水溝などへの流出を防止する。
大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。

回収・中和

適切なウエス、ペーパー等で拭い取るかスcoop等ですくい取り適切な容器に回収する。
飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は水で十分に洗い流す。

封じ込め及び浄化方法・機材
二次災害の防止策

適応される規制に従って廃棄する。
付近の着火源となるものを速やかに取り除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱い注意事項	<p>『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の適切な保護具を着用する。 火気厳禁 取扱いは換気の良い場所で行う。 取扱い後に手、顔等をよく洗う。 粉塵/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しない。 皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。 密閉された装置、機械、又は局所排気装置を使用する。 酸化剤と接触させない。 使用前に添付文書及び取扱説明書をよく読む。 本品に対して発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある作業者は使用しない。</p>
-----------	--

保管

保管条件	<p>直射日光を避け、冷所に保管する。 容器を密閉して保管する。</p>
容器包装材料	<p>オリジナルの容器に保管する。</p>

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度 (作業環境評価基準)	未設定
許容濃度	<p>日本産業衛生学会 情報なし ACGIH グリセリン : TLV-TWA 10 mg/m³</p>
設備対策 保護具	<p>取扱いについては、できるだけ密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。</p>
衛生対策	<p>呼吸用保護具 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用する。 手の保護具 保護手袋(不浸透性保護手袋)を着用する。 眼、顔面の保護具 保護眼鏡(ゴーグル型保護眼鏡)/顔面保護具を着用する。 皮膚及び身体の保護具 保護衣(長袖作業衣)、保護長靴、保護服を着用する。 取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。</p>

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
色	透明色
臭い	なし
融点・凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限及び爆発上限界/可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	情報なし
動粘性率	情報なし
溶解度	
水	グリセリン : 自由に混合
有機溶剤	グリセリン : エタノールと自由に混合、ジエチルエーテル、クロロホルムには難溶
n-オクタノール/水分係数	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1.2 g/cm ³
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

その他のデータ(放射性、かさ密度、
燃焼持続性) 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	酸化剤と接触すると反応することがある。
化学的安定性	通常の手扱いは安定。
危険有害反応可能性	通常の手扱いは安定。
避けるべき条件	高温、過熱、日光、熱
混触危険物質	酸化剤、強酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物	CO、CO ₂

11. 有害性情報

成分の有害性情報

急性毒性

経口	グリセリン : 区分外
	ラット 経口 LD ₅₀ =27200mg/kg
	マウス 経口 LD ₅₀ =26g/kg
経皮	グリセリン : 区分外
	ウサギ 経皮 LD ₅₀ >18700mg/kg

吸入

皮膚腐食性/刺激性	グリセリン : 区分外
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	グリセリン : 区分外
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	グリセリン : 区分外
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	グリセリン : 区分外
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	グリセリン : 区分外
誤えん有害性	情報なし

12. 環境影響情報

成分の環境有害性情報

生態毒性	グリセリン	甲殻類(オオミジンコ) EC ₅₀ =153,000 mg/l/48H
残留性・分解性	グリセリン	微生物などによる分解性が良好とされる物質 63% by BOD
生体蓄積性	グリセリン	log Pow=-1.76 (ICSC, 2006)
土壤中の移動性	情報なし	
オゾン層への有害性	情報なし	

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

スクラバーを具備した焼却炉で焼却処理を行う。
廃棄の際は、関連法規ならびに地方自治体の規準に従う。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が
その処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は関連法規ならびに地方自治体の規準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。

UN No. : 該当しない

Proper Shipping Name : -

Class : -

Packing Group : -

航空規制情報 : ICAO/IATAの規定に従う。

UN No. : 該当しない

Proper Shipping Name : -

Class : -

国内規制

陸上輸送情報 : 該当する法律に従う。

海上輸送情報 : 船舶安全法に従う。(IMOに準拠)

航空輸送情報 : 航空法に従う。(ICAOに準拠)

特別安全対策

転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

直射日光を避けて輸送する。

緊急時応急措置指針番号

-

15. 適用法令

化審法

特段規制なし

安衛法

非該当

化管法(PRTR法)

非該当

毒劇法

非該当

消防法

第4類 第三石油類 水溶性 危険等級Ⅲ : グリセリン

海洋汚染防止法

施行令別表第1有害液体物質(Z類) : グリセリン

16. その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご利用下さい。このSDSは、新しい知見により予告なく改訂することがあります。